

ミックスジュース

学級通信
鯉沢中3年生
2018年11月16日
No. 28
三者面談ありがとうございました



道徳「監督がくれたメダル」

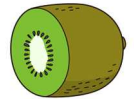


読み物について

人間は社会で生きていくために、何らかの集団の一員になっています。自分の意志で所属することもあれば、学級のように、決められた集団に所属することもあります。どんな集団でも、目標を達成したり、そこで生活を向上させたりしていくためには、構成する一人ひとりが協力し合い、役割と責任を果たすことが必要になります。



今回の読み物は、野球部でレギュラーになれず、裏方の仕事を命ぜられた少年と監督との心の交流が描かれたものです。主人公は補欠として下働きに徹するように要求されたうえ、同じ立場で練習に来なくなったYへの説得も任せられます。精神的に追い込まれながらも、チームが勝ち進んでいく中で、徐々に自らの役割と責任を自覚していきます。主人公の心の変容に着目することで、集団における個人の役割について深く考えることのできる資料です。



「所属する集団の一員であることを自覚し、

その責任を果たそうとする上で大切なこと」は何か？（一部紹介）

- ☪ 役割を自覚するということは、自分の個性を知ることにもなる。言い過ぎかもしれないが、集団の中で役割を与えられたら、自分にしかできないと考えたい。これは集団の人々が自分の個性を知っているうえで、託してくれたことだと思う。自分自身を大切にしていきたい。
- ☪ 自分がもらった仕事を最後まで取り組むことが大切だと思いました。私は影の仕事をするのが好きなのですが、これは無駄ではないのだなと思いました。それが嫌なことでも、必要なことだと考えて取り組んでいきたいです。
- ☪ 今日の話を読んで、集団の中で生活していくときには自分の役割が必ずある。その役割を果たすには、誰かのため、みんなのためなど周りのことを考えて行動することが大切だとわかった。自分のできることを探し、行動できることも、集団生活の中で大切なことの一部だと気づけた。
- ☪ 私は最初、大切なことはどの役割も同じくらい重要だと理解することだと考えました。しかし、みんなの意見を聴いて、大切なことは理解することだけでなく、何かのための思い、自分の役割を果たすことも集団に必要だと気がつきました。